

会 議 録

会 議 の 名 称	吉川市水防センター等整備検討委員会
開 催 日 時	令和4年11月16日(水) 午前・午後7時00分から 午前・午後8時30分まで
開 催 場 所	吉川市役所302・303会議室
出席委員(者)氏名	浅野富美枝委員長、大嶋浩一副委員長、島辺百合子委員、土屋真智子委員、 中村茂委員、笠井誠司委員、相川昇委員、廣木一夫委員、利根弘恭委員、 菊地純松委員、鈴鹿武志委員、田中明良委員
欠席委員(者)氏名	なし
担当課職員職氏名	危機管理課長 若林博之 河川下水道課長 多田文武 危機管理課調整幹 野間光二 危機管理課危機管理担当主査 九鬼智典 危機管理課危機管理担当主事 植田祐司

内容	
事務局	<p>1 開会</p> <p>2 吉川市水防センター等整備検討委員会について</p> <p>(1) 吉川市水防センター等整備検討委員会の設置について 資料「吉川市水防センター等整備検討委員会の概要」に基づき説明。</p> <p>(2) 委員紹介</p> <p>(3) 委員長及び副委員長の選出 委員から自薦・他薦の意見等がなかったため、事務局から委員長に浅野委員、副委員長に大嶋委員を選出することを提案し、全会一致で決定。</p> <p>3 水防センター及び河川防災ステーションについて</p> <p>(1) 概要説明 資料「河川防災ステーション等の概要」に基づき説明。</p> <p>《質疑・意見》</p>
委員	水防センターは、避難所にすることができるのか。
事務局	<p>まず、避難所と避難場所について、説明させていただきたい。</p> <p>避難所は、災害による家屋の倒壊や焼失などで自宅を失うなど、自宅で生活ができない方が、一定期間避難生活を送る施設になる。一方、避難場所は、災害による危険が切迫した状況において、その危険を回避するため、緊急かつ一時的に避難する施設や場所である。国からは、河川防災ステーションが災害時に防災の拠点となる施設であり、避難所としての利用は、重機が出入りすることを考えると、安全面から難しいのではないかとされている。</p>
委員	災害時は避難所や避難場所として、平時は運動施設というのも考えてみてはいいのではないか。
委員	検討を進めていく上で、水防センターは、水防資機材の倉庫や指令室、水防団員

	<p>の待機場所を整備しなくてはならないものなのか。</p>
事務局	<p>水防資機材の倉庫や指令室、水防団員の待機場所は、一般的に示されている機能である。吉川市の水防センターは、敷地面積が1,000㎡ということしか決まっていない。水防センターや河川防災ステーションは、災害時のための施設であるということが前提にある。しかし、災害は、常に発生しているものではないため、平時の活用について、皆さんから意見をいただきながら検討を進めていきたいと考えている。</p>
委員	<p>千葉県側が被災した場合についても、吉川市の河川防災ステーションで、復旧活動が行われるのか。</p>
事務局	<p>江戸川に限らず、他の河川や地域に被害があった場合にも復旧活動が行われることになると考えている。</p>
委員	<p>資料「河川防災ステーション等の概要説明」の図について、他に具体的に決まっていることがあるのか。</p>
事務局	<p>現時点においては、河川防災ステーション西側の県道と河川防災ステーション内の道路の位置が決まっている。</p>
委員	<p>他市の水防センターをみると、設置している設備が異なっているが、なにか理由があるのか。</p>
事務局	<p>上新郷地区水防センター、新川通地区水防センター、大高島地区水防センターについては、国と関係自治体が整備した施設のため、国のポンプ車等が配備されている。五霞町山王地区防災ステーションは、五霞町が整備しているため、国が使用する資機材等が配備されていない。なお、吉川市の水防センターは、吉川市が単独で整備する施設になる。</p>

委員	堤防の天端の状況について、どのような形状になっているか。
事務局	サイクリングロードとなっている道路とヘリポートがあり、水防センターの高さについては、堤防の天端と同じぐらいの高さになる予定である。
委員	水防センターは、1棟ではなく、何棟か整備することはできるのか。
事務局	できないということはないが、1棟で建てた方が、効率的ではないかと考えている。
委員	管理人などを常駐する予定があるのか。
事務局	管理人を常駐する予定はない。今後、検討を進めていく上で、そういった管理面も含めて、検討していただければと考えている。
委員	除草作業などの管理費用やランニングコストは、どの程度検討しているのか。
事務局	河川防災ステーションの上面利用をどこまで吉川市が利用するかによる。利用する部分については、吉川市が管理することになるため、除草作業を含めて、吉川市が実施することになる。
委員	河川防災ステーションの全てを利用しなくてもいいのか。
事務局	構わない。利用する面積についてもこれから検討していきたい。
委員	他市の水防センターは、どのように活用しているのか。
事務局	雑草が生い茂っていて、平時は利用されていない施設もあったが、防災教育として、パネル展示を行っている施設が多いように見受けられた。

委員	河川防災ステーションの上面利用について、どのように活用されているのか。
事務局	資料でお示しした新川通地区や、上新郷地区河川防災ステーションは、公園や道の駅が併設されているが、河川防災ステーションの上面（資材が埋設されている部分）については、あまり活用されていないようである。
委員	他市の河川防災ステーションは、管理するのが大変であるというイメージがある。五霞町山王地区防災ステーションは、広い駐車場があり、いざという時に避難できる場所があると聞いている。
事務局	五霞町山王地区防災ステーションは、河川防災ステーション内に五霞町が所有している敷地があり、資材の置場となっていないことから、そこを一時避難場所として活用していると聞いている。吉川市の河川防災ステーション内に、吉川市所有の土地はなく、全て国が所有している敷地となっている。
委員	水防センターを整備する上で、国の補助金を活用するにしても、市の税金が投入される。せつかく整備するのであれば、利用される施設を整備していただきたいと考えている。実際に整備されている施設を視察したいと考えるがいかがか。
委員	実際に整備されている施設を視察するとイメージが湧くと思う。
委員	河川防災ステーションは、水害時に浸水する場所になるのか。また、災害の本部機能を備える施設になるのか。
事務局	河川防災ステーションは、浸水しない場所となっている。また、災害の本部機能は、市役所庁舎になる。河川防災ステーションは、基本的に災害活動を行う拠点になる施設である。
委員	越谷ゴルフクラブ周辺にある防災倉庫については、河川防災ステーションの整備に関連するものか。

事務局	越谷ゴルフクラブ周辺にある防災倉庫は、江戸川水防事務組合の倉庫であり、河川防災ステーションの整備に関連する倉庫ではない。ただし、江戸川水防事務組合において、次に倉庫を整備するのは、吉川市となっているため、江戸川水防事務組合の倉庫を河川防災ステーション内に整備する案が出ている。
事務局	先ほど、視察に行く案があったが、次回の検討委員会は、視察に行くということでいかがか。
委員	今回は視察に行くということでいいのでないか。
事務局	今回は、年明け2月頃になると考えている。視察場所を検討し、国と日程調整の上、お知らせさせていただくのでよろしく願います。
	4 連絡事項 なし
	5 閉会